

掲載された新聞記事

2020.6.23


中日新聞

ありがとう

◇県岐阜商高にトレーニング器具贈呈 鋳物製造業のマツバラ（各務原市）は22日、県岐阜商業高校にトレーニング器具2台を寄贈した。大垣共立銀行が私募債発行額の一部を寄贈するサービスを利用。複数のトレーニングに使えるコンピネーションベンチと、バーベルを置くラックで、部活動で生徒が使用するトレーニングルームに設置された。

同校卒業生でもある同社の松原光好会長（78）は「トレーニング器具を使うことでさらに力をつけることができる」と話した。さっそく利用した硬式野球部3年の後藤典典さん（17）は「休校で体力が落ちているので、有効に使いたい」と喜んだ。

贈呈した松原会長（右）と、新しい器具の導入を喜ぶ後藤さん（左）の県岐阜商高で



岐阜新聞

トレーニング器具 県岐阜商高に贈る

マツバラと大垣共立銀 私募債を活用

トレーニング器具を寄贈したマツバラの松原光好会長（右）と岐阜市則武新屋敷、県立岐阜商業高校

鋳物製造業のマツバラ（各務原市）と大垣共立銀行（大垣市）は、同社が発



行した「OKB地域応援私募債（拍手喝賞）」を活用し、岐阜市則武新屋敷の県立岐阜商業高校にコンピネーションベンチとバーベルラックを各1台贈った。

同私募債は発行企業から受け取る手数料の一部を、学校などへの物品寄贈に充てる仕組み。今回贈った器具はトレーニングルームに設置され、各運動部が使う。22日に同校で贈呈式があり、卒業生で軟式野球部員だったという同社の松原光好会長（78）は「自分のころの練習はバットを振るくらいしかなかった。いいトレーニングになるのでは」と期待。硬式野球部3年の後藤典典さん（17）は「体力がコロナ禍で落ちている。有効に使って筋力アップにつなげたい」と話した。

